

東華中

地域と関わる貴重な学び



これがイチオシ

学問の神様祭る天満宮

東華中学校の近くに「榴岡天満宮」があります。仙台の観光地で、地域学習の場にもなっています。学問の神様「菅原道真公」が祭られ、受験生がお参りに訪れます。1689(元禄2)年には、松尾芭蕉が参拝し、「奥の細道」の題材にもなっています。境内にはウメやシラカシ、シダレザクラなどの古木が並びます。桜の名所の榴岡公園も隣接し、市街地に立地するにもかかわらず、自然を味わうこともできます。近くに来た際には、立ち寄ってみてください！

学校名 仙台市立東華中学校
所在地 仙台市宮城野区宮城野 2の14の27

創立 1947年
電話 022(298)8525
校長 佐藤 文春
生徒 414人

東華中学校は、地域の方々と関わりが多い学校です。代表的な行事に、私たちが住むまちの歴史を教える「地域学習」や、小学生と交流する「ワイワイ冬祭り」があります。地域学習は、学区内の史跡や神社を訪れ、ボランティアの方々から、歴史や成り立ちについて学ぶ活動です。学校の勉強だけでは分からないことや、初めて聞くことがたくさんあります。地域をより身近に感じることができました。

これらの活動は、学校生活では経験できない貴重な学びになります。東華中の伝統として継続していききたいです。

地域学習(右上、右下)とワイワイ冬祭り(左上、左下)に取り組む生徒たち



編集委員 永沢亮匡、森弘結仁、田沢そよか、平野優菜、岸里桜菜(3年)
遠山昶琉、瀬川茜、小林明日美、飯田逞傑、小畑知華(2年)
指導教員 荒川優斗

史跡訪問児童とも交流

わが校わがまち スクール通信



次回は 原町小(仙台市) 田尻中(大崎市)

笑顔と勇気届ける鼓笛隊

渡波小



これがイチオシ

思い込め3回鐘鳴らす

渡波小学校では、朝8時と帰る前に鐘を鳴らす文化があります。東日本大震災後から続いています。毎回3回鳴らします。1回目は児童の健康を願って、2回目は地域の人に時間を伝え、3回目は震災で犠牲になった方の鎮魂のためです。職員室のベランダにある鐘は、計画委員会が、地域の人や児童に安全に過ごしてもらえるように心を込めて鳴らしています。これからも鐘鳴らしの文化を守っていけるように頑張っています。

学校名 石巻市立渡波小学校
所在地 石巻市渡波町1の5の22
創立 1873年
電話 0225(24)1135
校長 千葉 一夫
児童 304人

川開き祭りでパレード

本年度150周年を迎える渡波小学校には、鼓笛隊と郷土芸能「渡波獅子風流」が受け継がれています。鼓笛隊は60年以上の歴史があります。地域のみなさんに笑顔と勇気を届けられるように、5、6年生は休み時間や授業時間を使って練習します。昨年、3年ぶりに開催の「石巻川開き祭り」ではパレードを行いました。初めは緊張しましたが、たくさんの応援をいただき楽しく演奏することができました。毎年2月には、鼓笛隊の引き継ぎ式が行われます。6年生から5年生へ技術や心構えを伝え、5年生が決意を表明します。

獅子風流は、毎年3年生が総合的な学習の時間を活用して地域の方から教わって、学芸会で披露します。本番では、伝統の舞いに込められた「地域の無病息災と大漁満足を願いながら、迫力ある演技をすることできました。

私たちは、これからも鼓笛隊と獅子風流の伝統を大切にしながら、地域の行事に積極的に参加していきます。

3年ぶりの石巻川開き祭りで、演奏する鼓笛隊の子どもたち



編集委員 及川連理、佐々木俐旺、佐藤結翔、高橋圭輔、佐藤倭、豊嶋優音(3月卒業、中学1年)阿部魁斗、阿部佳澄、斎藤咲人、佐藤知歩(6年)
指導教員 大坂凌平、菊田瑞希